

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	姫島こども園		
○保護者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・当センターは子どもの発達を踏まえ、心に焦点を当てた「本人主体の支援」「家族支援」を基本方針にしています。	・子どもの立場に立った理解を基本に、学校の先生方との話し合いを進めています。	・学校の先生方、保護者共により関係で「本人主体の支援」を理解し、本人と関われるよう支援を継続していきます。
2	・保護者が学校の先生方とじっくり話す機会が少ない為、訪問員が間に入り、保護者の不安や心配事を学校の先生方に伝えるなど、保護者に寄り添い、連携を手助けしています。	・相談支援事業との連携に努めています。 ・定期的な保護者との聞き取りをしています。	・学校とのさらなる連携を進めたいと考えています。
3	・学校の先生方と母親の関係が悪化した場面では、関係修復を手助けすることができました。	・放デイの職員とも連携し、放デイ職員の関わり方も学校の先生方に伝え、本人が安心して過ごせるよう、配慮しました。	・利用児がどうすれば学校で過ごしやすいかなど、保護者の心配や不安が軽減するための支援のあり方を検討しています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・センターとして、体制上の都合がなかなかつかないため、積極的に利用児を募り、保育所等訪問支援を事業として大きく展開していくことが難しい。	・人員不足 ・保育所等訪問支援事業の訪問員には、経験年数、力量が求められるが、経験の少ない職員が多い。	・事業ごとの職員育成が必要 ・学校と連携する経験の強化
2			
3			